

HOKKAIDO UNIVERSITY OF EDUCATION HAKODATE CAMPUS



教員紹介

国際協働

アフリカ / ジェンダー / 教育開発 など



有井 晴香 (ありい はるか)

【専門分野】 国際社会学 アフリカ地域研究 など

【担当科目】 開発社会学 社会調査の基礎 など

お問合せ ☎ 0138-44-4217 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	<p>【教員が協働可能なテーマ・活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アフリカの教育/ジェンダーに関わる活動 <p>など</p>	<p>【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域の生活ニーズ調査およびその支援 ●地域の世代間交流・国際交流活性化を目的とした拠点づくり支援 <p>など</p>	学生たちと

教員が提供可能な講演・講義例

海外フィールドワーク入門 ほか

【対象】 一般・中高生・教員・その他 ()

【概要】

海外における人びとの暮らしについて調べる方法について、アフリカ村落地域における調査経験談もまじえながら解説します。「まったく知らない地域で調査はできるの?」「調査するときの言語はどうする?」「どんな準備が必要?」そんな疑問にお答えします。

【その他】

一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部 (函館校) 国際地域学科 地域協働専攻 国際協働グループ 准教授

【所属学会】 日本文化人類学会 日本アフリカ学会 日本ナイル・エチオピア学会 日本比較教育学会

【主な研究テーマ】

- アフリカ農村における女性のライフコースと教育開発
 - アフリカ農村における出産環境の変容
 - アフリカ農村における子どもの遺棄と保護
- など

【地域貢献活動の実績 (委員歴・社会活動等)】

- 日本ナイル・エチオピア学会 評議員
- など





伊藤 美紀 (いとう みき)

【専門分野】 日本語教育学 日本語教師教育

【担当科目】 日本語教育学 日本語教育法 など

お問合せ ☎ 0138-44-4217 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 ●看板や展示物、文書のやさしい日本語版作成 ●やさしい日本語についての研修会、相談 ●日本語指導を必要とする外国人児童生徒等支援についての研修・相談 ●日本語指導や言語教育のためのICT活用 ●日本語教師の国家資格「登録日本語教員」に関する相談 など	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 ●看板や展示物、文書のやさしい日本語版作成 ●日本語指導を必要とする外国人児童生徒を含む児童生徒と大学生との協働活動 ●言語教育のためのICT活用 ●やさしい日本語や複言語を活用した交流活動 など	学生たちと

教員が提供可能な講演・講義例

日本語教育からみる世界と地域 / やさしい日本語入門 ほか

【対象】 一般・ 中高生・ 教員・その他 ()

【概要】

日本語教師という職業を通して世界や地域を見てみます。世界や地域における「やさしい日本語」の活用例をみることで、これからの多文化共生社会について考えるきっかけにもなればと思います。

【その他】

一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考ににご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部 (函館校) 国際地域学科 地域協働専攻 国際協働グループ 准教授

【所属学会】 公益財団法人日本語教育学会 大学日本語教員養成課程研究協議会 など

【主な研究テーマ】

- やさしい日本語の活用に関する研究
 - やさしい日本語を用いた対話活動をととして日本語母語話者が得る学びに関する研究
 - 外国語教育・外国語教師教育のためのICT活用に関する研究
 - 日本語教師養成に関する研究
- など

【地域貢献活動の実績 (委員歴・社会活動等)】

- 北海道教育委員会 帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業運営委員・アドバイザー (学校訪問支援、研修講師、マニュアル監修他) (2017.7~現在)
 - 大学日本語教員養成課程研究協議会 (大養協) 理事 (2021.6~現在)
 - 文部科学省委託北海道・東北ブロック日本語教師養成・研修推進拠点整備事業 (HoT-JeT) 委員 (2023.11~現在)
- など



国際協働	文学の魅力／読書の楽しみ／現代文の読み方 など	
	小林 真 二 (こばやし しんじ)	
	【専門分野】 日本近現代文学 など	
	【担当科目】 近現代文学講読 日本の言語表象文化 など	
	お問合せ	☎ 0138-44-4217 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ● 日本近現代文学に関する企画・活動等 ● 道南の近現代文学に関する調査・研究・まちおこしへの活用等 ● 道南地域の文学館・図書館等の活性化 ● 中・高の現代文（特に小説）の指導に関する研究会・研修会への協力等 <p style="text-align: right;">など</p>	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ● 中学・高校の探究（総合的な学習の時間）の支援 ● 学校での文学導入ワークショップ（例：短歌カードゲーム、物語創作ワーク） ● 地域や学校の読書活動推進（例：POP・帯作成ワークショップの企画・実施） <p style="text-align: right;">など</p>	学生たちと

教員が提供可能な講演・講義例

モダン
函館不良文学への誘い ほか

【対 象】 一般・中高生・教員・その他（図書館関係者）

【概 要】
 函館を代表する作家といえば、石川啄木・・・では本来決してないのだと、亀井勝一郎は断言しています。真に函館らしい文学を生んだのは、長谷川海太郎（谷譲次、林不忘、牧逸馬）、久生十蘭、水谷準という3人の作家——亀井が父から真似をするなど堅く戒められた不良（モダン）な先輩たちでした。本講義では、知られざる3人の文学の魅力について、地元資料や代表作に沿ってわかりやすくお話いたします。

【その他】
 時間的に余裕があれば、POP作成ワークショップと組み合わせて実施することも可能です。
 中高生や先生方を対象とした、現代文教材の読み方・教え方に関する講義や研究会などの経験もあります。
 日本近現代文学関連であれば何なりと、ひとまずご相談いただければ幸いです。

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 国際協働グループ 教授

【所属学会】 日本近代文学会 昭和文学会 坂口安吾研究会

【主な研究テーマ】 <ul style="list-style-type: none"> ● 坂口安吾の文学・思想 ● 近現代日本文学 ● 近現代日本の笑い ● 大正期函館のモダン文学 <p style="text-align: right;">など</p>	【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】 <ul style="list-style-type: none"> ● 函館市教育委員会・図書館協議会 委員 ● FMいるか「読んで面白い文学案内」パーソナリティー ● 高文連道南支部大会講演「小説の魔術師・久生十蘭——反転と抑制の美学」講師 <p style="text-align: right;">など</p>
---	---



国際協働	国際企業／水産加工業／外国人労働者政策 など	
	孔 麗 (こん りー)	
	【専門分野】 中国経済経営 アジア経済 国際企業 など	
	【担当科目】 アジア経済論 国際比較企業論 経済学特論 など	
	お問合せ	☎ 0138-44-4217 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ● 過疎地域の労働力確保に関する支援活動 ● 外国人単純労働者の受入れに関する支援活動 ● 日中経済交流の支援 <p style="text-align: right;">など</p>	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ● 外国人労働者に対する地域としての支援 <p style="text-align: right;">など</p>	学生たちと
------------	--	---	--------------

教員が提供可能な講演・講義例

「ユニクロ」はいかにしてグローバル企業になったのか ほか

【対象】 一般・ 中高生・ 教員・その他 ()

【概要】
「ユニクロ」といえば、若い人なら誰でも知っているお店ですが、現社長が父親から経営を引き継いだときは、山口県宇部市の紳士服を安く販売する中小企業にすぎませんでした。それが今や、中国をはじめとするアジアを中心に、衣料品を製造し、日本はもとより世界中に店を出すグローバル企業に成長しています。そこにはどのような経営戦略があったのでしょうか。

【その他】
一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。


研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 国際協働グループ 教授

【所属学会】 中国経済経営学会 日本漁業経済学会 北日本漁業研究会 企業家研究フォーラム など
アジア政治経済学会 経営戦略学会

【主な研究テーマ】 <ul style="list-style-type: none"> ● 中小企業経営の国際化に関する研究 ● アジアの外国人労働者政策 ● 北海道における海外展開企業の経営戦略 ● 中国食料消費構造の変化が北海道水産加工業に与える影響に関する研究 <p style="text-align: right;">など</p>	【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】 <ul style="list-style-type: none"> ● 国際ロータリー米山奨学生学友会 会員 ● 南北海道定住自立圏共生ビジョン懇談会 委員 ● 内閣府青年国際交流事業 「日本・中国青年親善交流研修会」研修講師 ● 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構北海道支部 北海道職業能力開発促進センター函館訓練センター 部会委員・座長 <p style="text-align: right;">など</p>
---	---



国際協働		英語 / 言語学 / 認知言語学 / 英語教育 など	
		佐々木 昌太郎 (ささき しょうたろう)	
		【専門分野】 英語学 認知言語学 (認知文法) 英語教育 など	
		【担当科目】 英語学概論 I & II 英語語法研究 など	
		お問合せ	☎ 0138-44-4217
地域協働可能なテーマ・取組例			
教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 ●英語教育の現状と課題 など	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 ●英語教育の現状と課題 (地域の英語教育の現状を調査し、課題は何かを考えます) など	学生たちと
	教員が提供可能な講演・講義例		
心から英語について考える			
【対 象】 <input type="checkbox"/> 一般・ <input type="checkbox"/> 中高生・ <input type="checkbox"/> 教員・その他 ()			
【概 要】 言葉は私たちが何気なく使用しているものですが、少し距離を置いて眺めてみると「どうしてだろう」と不思議に思う現象が沢山あります。「認知言語学」と呼ばれる学問を紹介し、英語の事例を取り上げながら、私たちのものの見方や捉え方から言葉の不思議について考えてみます。			
【その他】 一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。			
研究者情報			
【現 職】 北海道教育大学教育学部 (函館校) 国際地域学科 地域協働専攻 国際協働グループ 准教授			
【所属学会】 函館英語英文学会 日本英語学会 日本認知言語学会 など			
【主な研究テーマ】 ●to 不定詞に関する認知文法的研究 ●英語の補文の指導法に関する考察 など		【地域貢献活動の実績 (委員歴・社会活動等)】 現在参加している活動は特にありません。	

国際協働	地域での日本語教育 / 日本語学習支援 など	
	佐藤 香織 (さとう かおり)	
	【専門分野】 言語学 日本語学 日本語教育 など	
	【担当科目】 日本語教育学Ⅱ 日本語教育実習Ⅰ～Ⅱ など	
	お問合せ	☎ 0138-44-4217 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ● 企業・地域での日本語学習支援者養成 ● 小中学校教員に対する日本語教育セミナー ● グリーン・ツーリズムや観光における効果的な異文化コミュニケーションの支援 <p style="text-align: right;">など</p>	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ● 海外にルーツを持つ児童・生徒の日本語支援 → 地域プロジェクトで現在、支援活動を行っている <p style="text-align: right;">など</p>	学生たちと
-----	---	--	-------

教員が提供可能な講演・講義例

地域で必要な日本語教育とは ほか

【対象】 一般・中高生・教員・その他 ()

【概要】
 地域に日本語教育を必要とする人々、観光で日本を訪れる人々がますます多くなっています。都市部とは異なり、人的リソースが少ない「地域」では、日本語教育や異文化間コミュニケーションについての知見を多くの方々が共有することが、異なる文化・言語の方々と共生社会の基礎となり、地域活性化を推し進めることにつながります。まずどんなことを私たち一人ひとりが考えていくべきか、一緒に考えていきましょう。

【その他】
 一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 国際協働グループ 教授

【所属学会】 日本言語学会 日本語文法学会 日本語教育学会 異文化間教育学会 言語政策学会 など

【主な研究テーマ】 <ul style="list-style-type: none"> ● 日本語の補文や補部名詞句の表すイベントと文法的振る舞いとの関係についての研究 ● 日本語の数量詞の文法的・意味的振る舞いについての研究 ● グリーン・ツーリズムにおける日本語教育 ● 日本語教員養成課程における効果的な実習の在り方についての研究 <p style="text-align: right;">など</p>	【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】 <ul style="list-style-type: none"> ● 日本語ボランティア育成セミナー 講師 ● 「日本語学習支援ネットワーク会議 2014 in 青森」の企画・実行 ● 秋田にほんごの会 ● 文部科学省日本語指導アドバイザー 招聘事業 シンポジウム「函館市の子どもの日本語支援を考える」の企画・実行 <p style="text-align: right;">など</p>
--	---



国際協働	ことばの意味の分析 / やさしい日本語の活用 など	
	高橋 圭介 (たかはし けいすけ)	
	【専門分野】 日本語学 (意味論・文法論) など	
	【担当科目】 外国語としての日本語 日本語教育文法Ⅰ～Ⅱ など	
	お問合せ	☎ 0138-44-4217 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教 員 が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ● 公的文書・掲示物などを対象とした「やさしい日本語」への書き換え支援 ● 防災・減災のための「やさしい日本語」の活用 ● ことばに関する実態調査 (誤用や地域方言、若者ことばに代表される新規性の高い表現などを対象とした調査) <p style="text-align: right;">など</p>	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ● 防災・減災を目的とした「やさしい日本語」への書き換え (防災マニュアルや非常食の説明書き等の書き換え) ● 外国人観光客に向けた、「やさしい日本語」による観光用展示物の書き換え ● 地域住民や観光客を対象とした、方言に関する意識調査 <p style="text-align: right;">など</p>	学 生 た ち と

教員が提供可能な講演・講義例

ことばの意味を考える

【対 象】 <input type="checkbox"/> 一般・ <input checked="" type="checkbox"/> 中高生・ <input type="checkbox"/> 教員・ <input type="checkbox"/> その他 ()
【概 要】 ことばの意味が持つさまざまな性質について、実際の分析を通して考えていきます。具体的には、類義語間の意味の違い、多義語が表す複数の意味の区分、通常の日本語から「やさしい日本語」への書き換え、などについて参加者に議論してもらい、そこで出た結果に基づいてさらに考察を深めていきます。普段あまり考えることのない、ことばの問題に意識を向けることによって、参加者の「ことばに対する気づき」を促すことを意図しています。
【その他】 上記の講義は主に中高生を対象としていますが、一般向けにアレンジすることも可能です。 また、教育大では日本語教員養成プログラムにも関わっているため、日本語教育とからめた講義も可能です。

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部 (函館校) 国際地域学科 地域協働専攻 国際協働グループ 准教授		
【所属学会】 日本語文法学会 日本語教育学会 日本語学会 日本認知言語学会		
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;"> 【主な研究テーマ】 <ul style="list-style-type: none"> ● 現代日本語における類義語および多義語の意味記述とその方法論に関する研究 ● 「やさしい日本語」への書き換えに関する研究 <p style="text-align: right;">など</p> </td> <td style="width: 50%;"> 【地域貢献活動の実績 (委員歴・社会活動等)】 <ul style="list-style-type: none"> ● 函館日本語教育研究会 ● ヒューマンアカデミー日本語教師養成講座 言語学系・日本語学系非常勤講師 <p style="text-align: right;">など</p> </td> </tr> </table>	【主な研究テーマ】 <ul style="list-style-type: none"> ● 現代日本語における類義語および多義語の意味記述とその方法論に関する研究 ● 「やさしい日本語」への書き換えに関する研究 <p style="text-align: right;">など</p>	【地域貢献活動の実績 (委員歴・社会活動等)】 <ul style="list-style-type: none"> ● 函館日本語教育研究会 ● ヒューマンアカデミー日本語教師養成講座 言語学系・日本語学系非常勤講師 <p style="text-align: right;">など</p>
【主な研究テーマ】 <ul style="list-style-type: none"> ● 現代日本語における類義語および多義語の意味記述とその方法論に関する研究 ● 「やさしい日本語」への書き換えに関する研究 <p style="text-align: right;">など</p>	【地域貢献活動の実績 (委員歴・社会活動等)】 <ul style="list-style-type: none"> ● 函館日本語教育研究会 ● ヒューマンアカデミー日本語教師養成講座 言語学系・日本語学系非常勤講師 <p style="text-align: right;">など</p>	

国際協働	国際社会 / 開発途上国 / 戦略経営 など
津 曲 真 樹 (つまがり まき)	
【専門分野】 国際協力論 組織行動論 競争戦略論	
【担当科目】 国際協力概論 国際協力事業論 国際協力最前線 など	
お問合せ ☎ 0138-44-4217 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp	

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	<p>【教員が協働可能なテーマ・活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●【学校向け】国際社会に関する導入講義 ●【一般・専門・企業向け】組織運営の「何をしたら良いか」の疑問について、糸口を考えるプロセス（課題の分析→見える化→対応検討など）のファシリテーション <p style="text-align: right;">など</p>	<p>【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●【一般・専門・企業向け】組織の中にいると当たり前になって逆に見えなくなる部分を、別の角度から見るリフレーミングや、ハーバード大学教授マイケル・ポーターが生み出した、「競争戦略論」の「クラスター（産業集積）概念に沿っての組織分析 <p style="text-align: right;">など</p>	学生たちと
-----	--	--	-------

教員が提供可能な講演・講義例

【対象】 一般・ <u>中高生</u> ・教員・その他（ ）	「国際的視野」を紐解いてみよう ほか
【対象】 <u>一般</u> ・中高生・ <u>教員</u> ・その他（ <u>企業</u> ）	国際的なツールを使って組織の立ち位置を可視化しよう

【概要】

「国際的な視野」がどのように「地域の活性化」に関係するかを考えるセッションや、慣れ親しみ過ぎた自分の組織を新たな視点で見つめることを可能にするリフレーミング等、世界23カ国で組織作り・人造りに携わった教員が実践で活用してきた国際的なアプローチに照らしながら、参加者と一緒に探究するジャム（＝即興）セッションです。一緒に頭と心をほぐして活性化しましょう。

【その他】

中学・高校などでの講義・演習から一般、専門職向けの問題分析ファシリテーションなど、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考ににご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 国際協働グループ 講師

【所属学会】 日本公共政策学会 Asian Association for Public Administration (AAPA) 国際開発学会

<p>【主な研究テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「人間は自分の置かれた境遇（組織や環境）と対峙しながら成長する」という観点からの、人材育成に関する探究 ●世界の激変に伴う、国際協力の出し手と受け手の関係変容とその中で実施する国際援助の在り方 ●世界の援助機関（国際機関や二国間機関）の潮流 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●バングラデシュ国立ダッカ大学経営学部博士論文審査委員会外部審査委員 ●「行政に関するアジア・太平洋地域機関（EROPOA）」年次総会分科会セッションリーダー ●北海道中小企業家同友会函館支部主催「幹部大学」講師 <p style="text-align: right;">など</p>
--	--



国際協働		人権・平和 / 日韓問題 / 国際人権 など	
		河 錬 洙 (は よんす)	
		【専門分野】 国際協力 国際法 国際人権 など	
		【担当科目】 国際機構論 国際人権論 国際法 など	
お問合せ		☎ 0138-44-4217	✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp
地域協働可能なテーマ・取組例			
教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ● 海洋環境保護・保全に関する国際協力 ● 国際紛争の解決のための国際協力 (市民フォーラム等) ● 海洋政策に関する国際協力 (漁業・沿岸管理等) 	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ● 函館の国際交流活動の現状と課題について 分析・検討 ● 国際交流活動を通じた函館まちづくり支援 	学生たちと
		など	
教員が提供可能な講演・講義例			
国際協力政策・国際交流活動			
【対象】 <input type="checkbox"/> 一般・ <input checked="" type="checkbox"/> 中高生・教員・その他()			
【概要】 現代国際社会の現状を踏まえ、国際協力の意義や課題について考えてみたいと思います。特に、貧困問題や南北問題の現状を把握し、国連やその他の国際機関の機能・役割について、さらに日本(政府)の役割(ODA)や、様々な国際NGO活動等を解説します。			
【その他】 一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。			
研究者情報			
【現職】 北海道教育大学教育学部(函館校) 国際地域学科 地域協働専攻 国際協働グループ 准教授			
【所属学会】 国際法学会(日本) 世界法学会(日本) 大韓国際法学会(韓国)			
【主な研究テーマ】 <ul style="list-style-type: none"> ● 国際法における国際協力の意義や課題について ● 生物多様性の保護に関する国際法の動向について ● 深海底資源の開発をめぐる国際法と、海洋環境の保全・保護 	【地域貢献活動の実績(委員歴・社会活動等)】 <ul style="list-style-type: none"> ● 函館地方裁判所及び家庭裁判所委員会 委員 ● 在日本大韓民国民団函館支部 役員 	など	など

国際協働	多様性の地域づくり／難民問題・移民と社会統合 など	
	森 谷 康 文 (もりたに やすふみ)	
	【専門分野】 国際福祉 ソーシャルワーク	
	【担当科目】 国際福祉論 多文化社会論 貧困に対する支援 など	
	お問合せ	☎ 0138-44-4217 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	<p>【教員が協働可能なテーマ・活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域での外国人受け入れ・定住に関する調査及び支援に関するとりくみ ● 外国人住民の生活問題に関する調査及び支援に関するとりくみ ● 外国人労働者・雇用に関する調査及び就労支援・雇用支援に関するとりくみ <p style="text-align: right;">など</p>	<p>【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 難民問題に関する映画上映とワークショップ ● 外国人児童・生徒への学習支援 ● 外国人労働者への日本語学習支援 ● 外国人留学生の就労体験サポート <p style="text-align: right;">など</p>	学生たちと
------------	---	---	--------------

教員が提供可能な講演・講義例

「こんなにも身近な難民問題」 ほか

【対 象】 一般・ 中高生・ 教員・その他 (小学生)

【概 要】

世界では、史上最悪の事態と称されるほど難民となる人々が増大しています。一方、日本にも難民がいることはあまり知られておらず、どこか遠い国の話とを感じる人も多いのではないのでしょうか。本講義では、難民問題の基礎的な知識を学ぶとともに、難民が抱えている様々な困難だけでなく日本や各国に逃れた難民が、働き、学び、受け入れ社会の一員として活躍していることの状態を知ることを通して、移民・難民の社会統合のあり方を考えます。

【その他】

職場や学校、さらには保健医療福祉の実践における異文化理解や外国人支援に関する法律、制度、支援技術、対象者理解などを講演、ワークショップ、事例検討など多様なかたちでおこないます。

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 国際協働グループ 准教授

【所属学会】 移民政策学会 日本社会福祉学会 難民研究フォーラム 多文化間精神医学会

<p>【主な研究テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 刑務所に収容された「外国ルーツの若者」の社会復帰 ● 難民の社会統合と地域定住支援 ● 外国人労働者受け入れの課題検討 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 北海道教育庁スクールソーシャルワーカー活用事業エリアスーパーバイザー ● 函館市自殺予防対策実務者会議 委員 <p style="text-align: right;">など</p>
--	---

国際協働	民主主義 / 多文化共生 / 国際関係史 など	
	山 川 卓 (やまかわ たかし)	
	【専門分野】 国際関係学 政治学 ナショナリズム論 マイノリティ政策/運動 など	
	【担当科目】 国際関係論 国際政治学 など	
	お問合せ	☎ 0138-44-4217 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教 員 が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】	学 生 た ち と
	<ul style="list-style-type: none"> ●多文化共生にかかわる調査研究・支援 ●ナショナル・マイノリティ（少数民族）の権利保障にかかわる調査研究・支援 ●グローバルな国際関係史における、函館と世界のつながりに関する調査研究 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●政治・民主主義について考える読書会 ●左記のテーマに関連するワークショップ <p style="text-align: right;">など</p>	

教員が提供可能な講演・講義例

欧州でのロマ児童への教育 ほか

【対 象】 一般・中高生・教員・その他（ ）

【概 要】
過去 20 年、欧州では少数民族のロマの子どもたちに対する「隔離教育」が問題にされてきました。ロマ児童が、一律に特別支援学級やロマ児童だけの学級に編成され、十分な教育を受けられないという問題です。「文化的に異なる」背景をもつ子どもたちへの教育はどのように可能なのか、そもそも文化的に同じ/違うとは何を意味しているのか、欧州のロマ教育政策を事例に考えます。

【その他】
一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考ににご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

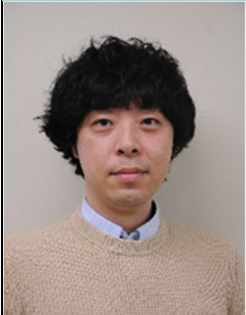
研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 国際協働グループ 講師

【所属学会】 日本国際政治学会 日本平和学会 グローバル・ガバナンス学会 東欧史研究会

<p>【主な研究テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●旧ユーゴスラヴィアのロマ運動とグローバルな反人種差別運動のつながり ●現代クロアチアのナショナル・マイノリティ政策 ●欧州統合下でのロマ政策 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生涯教育機関 新いちょう大学校（大阪） 講師（2018） <p style="text-align: right;">など</p>
--	---



地域政策	法の経済学的な分析 / 法の哲学 など		
	伊藤 泰 (いとう やすし)		
	【専門分野】 法哲学 など		
	【担当科目】 現代地域教養Ⅱ (法哲学) 日本国憲法 など		
	お問合せ	☎ 0138-44-4217	✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp
地域協働可能なテーマ・取組例			
教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 ●法教育 その他、法にかかわることであれば、ご相談ください。	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 ●法教育プロジェクト など	学生たちと
教員が提供可能な講演・講義例			
「平等」について考える ほか			
【対象】 <input type="checkbox"/> 一般・ <input type="checkbox"/> 中高生・ <input type="checkbox"/> 教員・その他 ()			
【概要】 現代社会は自由や平等を基調と言われますが、そもそも「平等」とはどういうことなのでしょうか。具体例をもとに考えてみましょう。			
【その他】 一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考ににご相談ください。日程が許す限り対応いたします。			
研究者情報			
【現職】 北海道教育大学教育学部 (函館校) 国際地域学科 地域協働専攻 地域政策グループ 教授			
【所属学会】 法哲学・社会哲学国際学会連合 (IVR) 日本法哲学会 公共選択学会 日本公法学会			
【主な研究テーマ】 ●公共選択論 個人研究 ●法秩序のゲーム論的モデル化 個人研究 など	【地域貢献活動の実績 (委員歴・社会活動等)】 ●函館地方裁判所簡易裁判所判事推薦委員会 委員 ●函館市情報公開・個人情報保護審査会 委員 ●函館市公務災害補償等審査会 委員 ●函館市パートナーシップ制度検討委員会 委員長 など		

地域政策	まちあるきガイドと観光 / 観光とまちづくり など	
	奥 平 理 (おくだいら おさむ)	
	【専門分野】 観光学 観光地理学 など	
	【担当科目】 地域政策概論Ⅲ (観光学入門) 地域政策概論Ⅳ (国際観光論) まちづくり論 観光産業論 地理学概論 観光コンシェルジュ実習Ⅰ・Ⅱ など	
	お問合せ	☎ 0138-44-4303 ✉ okudaira.osamu@h.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教 員 が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ●地域の観光振興に関する調査・研究・分析 (北海道新幹線開業による経済効果) ●観光まちあるきガイド育成事業 (函館市観光ボランティアガイド育成事業) ●観光振興・まちづくり・経済効果に関する 講演 (講演回数:100 回超) <p style="text-align: right;">など</p>	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ●各種団体主催の観光関係イベントに参加・ 協働 ●各種団体主催のまちづくり関係イベントに 参加・協働 ●「学生観光ボランティアガイド」の組織化と 運営支援 <p style="text-align: right;">など</p>	学 生 た ち と

教員が提供可能な講演・講義例

地域振興と地域連携 -津軽海峡圏- ほか


【対 象】 <input type="checkbox"/> 一般・ <input checked="" type="checkbox"/> 中高生・ <input checked="" type="checkbox"/> 教員・その他 ()
【概 要】 津軽海峡圏 (津軽海峡をはさんだ渡島半島南部-青森県) は歴史的にみて、交通手段の発達によりその交流を変化させてきました。そして北海道新幹線の開業で函館-青森間は約1時間で行き来できるようになりました。こうした変化が津軽海峡圏の地域に与えるさまざまな影響 (例: 観光) を分析することから、より活発な交流を生み出す方をわかりやすく、具体的に解説します。
【その他】 一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部 (函館校) 国際地域学科 地域協働専攻 地域政策グループ 准教授	
【所属学会】 日本観光学会 日本地理学会 北海道地理学会 函館人文学会 学校教育学会 など	
【主な研究テーマ】 <ul style="list-style-type: none"> ●観光 (ボランティア) ガイド活動による地域活性化の事例 -津軽海峡圏- ●日本とカナダの観光地におけるクルーズ船寄港による 観光・ビジネスの拡大と地域活性化 ●道南・函館における観光イベントの運営形態と学生参加 の可能性 <p style="text-align: right;">など</p>	【地域貢献活動の実績 (委員歴・社会活動等)】 <ul style="list-style-type: none"> ●国土交通省函館開発建設部管内協働型道路マネジメント 会議 委員長 (H27.2~) ●津軽海峡交流圏ラムダ作戦会議 委員 (アドバイザー) (R3.4~) ●函館市観光アドバイザー会議 座長 (H26.4~) ●函館市生活交通協議会 会長 (H27.10~)



地域政策		民事法学 / 法教育 / 根抵当制度 など	
		金 鉉 善 (きむ ひよんそん)	
		【専門分野】 民事法学 法教育 など	
		【担当科目】 民法 日本国憲法 倫理・人権 など	
お問合せ		☎ 0138-44-4316	✉ kim.hyunsun@h.hokkyodai.ac.jp
地域協働可能なテーマ・取組例			
教 員 が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ●われわれの生活に密接に関連する私法教育（民法等）について研究・支援 ●多文化共生社会の実現のために法教育を支援（子どものための法教育、外国人のための法教育など） <p style="text-align: right;">など</p>	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ●人形劇による「子どもに対する法教育プロジェクト」 ●「多文化共生社会実現プロジェクト」外国人と受け入れ側が共に考える場づくり ー法教育の観点からアプローチ <p style="text-align: right;">など</p>	学 生 た ち と
	教員が提供可能な講演・講義例		
多文化共生社会の実現 ー法教育の観点からアプローチ ほか			
【対 象】 <input type="checkbox"/> 一般・ <input type="checkbox"/> 中高生・ <input type="checkbox"/> 教員・その他（ ）			
【概 要】 <p>グローバル化に伴い、「情報」「モノ・カネ」「ヒト」の移動が激しくなり、その変化の中で、私たちは、ほかの人々と共に生活しています。他人同士が、気持ちよく、生活をするためには、一定の法（ルール・きまり）が必要です。その法・ルール・きまりは、「誰が決めるのか?」「誰のためにあるのか?」について法教育の観点からアプローチします。</p>			
【その 他】 <p>一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。</p>			
研究者情報			
【現 職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 地域政策グループ 准教授			
【所属学会】 日本私法学会 日本土地法学会 比較法学会 中四国法制学会 北海道教育大学函館人文学会 など			
【主な研究テーマ】 <ul style="list-style-type: none"> ●法教育 個人研究 ●根抵当制度の研究 個人研究 <p style="text-align: right;">など</p>		【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】 <ul style="list-style-type: none"> ●函館市地球温暖化対策地域推進協議会 委員 ●令和4年度函館市地域共生社会啓発ワークショップ 講師 <p style="text-align: right;">など</p>	

地域政策	カナダ / 移民政策 / 多様性 / 地域政策 など		
	古地 順一郎 (こち じゅんいちろう)		
	【専門分野】 政治学 カナダ研究 移民・多文化共生政策 など		
	【担当科目】 地域政策概論 市民社会論 北米コミュニティ形成論 など		
	お問合せ	☎ 0138-44-4217	✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】	学生たちと
	<ul style="list-style-type: none"> ●多様性を生かした地域づくり ●外国人政策・多文化共生政策に関わる調査・助言 ●カナダおよびケベックに関わる活動 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●政策立案・実施に関わる調査の支援 ●外国人政策・多文化共生政策の立案・実施に関わる支援 ●LGBTQ+と地域づくりに関わる支援 <p style="text-align: right;">など</p>	

教員が提供可能な講演・講義例


地域政策学へのとびら — 政策を学ぶ意味を考える — ほか

【対象】 一般・ 中高生 ・教員・その他 ()
【概要】 人口減少が本格的に進む縮小社会において、政策や政治が持つ意味はますます大きくなっています。本講義では、なぜ 政策や政治を学ぶ必要があるのかを考えます。
【その他】 カナダや多文化共生に関する講義も提供可能です。

研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 地域政策グループ 准教授	
【所属学会】 日本カナダ学会 日本ケベック学会 移民政策学会 日本政治学会 日本比較政治学会 など	
【主な研究テーマ】 <ul style="list-style-type: none"> ●カナダの移民政策、統合政策、多文化共生政策 ●カナダ政治、ケベック州政治 ●多様性を生かした地域づくり <p style="text-align: right;">など</p>	【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】 <ul style="list-style-type: none"> ●北海道総合開発委員会 参与 ●江差町総合計画等策定審議会 副会長 ●南北海道定住自立圏共生ビジョン懇談会 座長 ●HUE レインボーはこだてプロジェクト メンバー <p style="text-align: right;">など</p>



地域政策	健康な地域づくり / 地域の互助体制づくり など	
	齋藤 征人 (さいとう まさと)	
	【専門分野】 地域福祉 ソーシャルワーク など	
	【担当科目】 ソーシャルワーク論 ソーシャルクリニックと地域 など	
	お問合せ	☎ 0138-44-4217 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】	学生たちと
	<ul style="list-style-type: none"> ●生活支援体制整備事業に関する研究等 (聞き取り調査)・助言・支援 ●既存の地域資源を活用した地域コミュニティ拠点づくりに関する研究・支援 ●学校における課題探求型学習に関する助言・支援 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の生活ニーズ調査及びその支援 ●サードプレイスを拠点とした社会貢献活動促進支援 ●「まちづくりカフェ」「地域づくり支援実習」等による地域づくり支援 ●社会福祉士国家試験受験支援 <p style="text-align: right;">など</p>	

教員が提供可能な講演・講義例

自分のできるコトで誰かのためになれるまちづくり 信頼関係をつくるコミュニケーション術 ほか

【対 象】 一般・ 中高生・ 教員・その他 ()

【概 要】
生活スタイルや価値観の多様化によって、地域コミュニティが無縁化しつつあるといわれています。他方、住民同士がつながりを実感できる地域コミュニティ再生への試みも、各地で始まっています。
本講義では、多様な主体による「おたがいさま」の地域づくりの魅力とその可能性について考えます。また、信頼関係づくりのためのコミュニケーションスキルに焦点化した講義も可能です。

【その他】
一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考ににご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部 (函館校) 国際地域学科 地域協働専攻 地域政策グループ 教授

【所属学会】 日本社会福祉学会 日本地域福祉学会 日本社会福祉士会 日本教育支援協働学会 など

【主な研究テーマ】 <ul style="list-style-type: none"> ●ソーシャルワーカーの実践知形成過程 ●遊休施設を活用した福祉コミュニティづくり ●地域包括ケアシステムと生活支援体制整備事業 <p style="text-align: right;">など</p>	【地域貢献活動の実績 (委員歴・社会活動等)】 <ul style="list-style-type: none"> ●函館市地域包括支援センター運営協議会 会長 ●北斗市総合戦略検討・推進会議 会長 ●北斗市地域公共交通活性化協議会 会長 <p style="text-align: right;">など</p>
--	--



地域政策	ソーシャルワーク / 福祉教育 / 生涯学習 など		
	外 崎 紅 馬 (とのさき こうま)		
	【専門分野】 社会福祉学 地域福祉 福祉教育 など		
	【担当科目】 地域福祉論 社会科学入門(社会福祉学) など		
	お問合せ	☎ 0138-44-4217	✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教 員 が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】	学 生 た ち と
	<ul style="list-style-type: none"> ●生涯学習・福祉教育に関する調査研究・支援 ●社会福祉・ソーシャルワークに関する理解促進 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の生活課題についての検討及び考察 ●地域課題に関する意識啓発と社会的行動の促進支援 <p style="text-align: right;">など</p>	

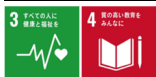
教員が提供可能な講演・講義例


生活で活かすソーシャルワーク

【対 象】 <input type="checkbox"/> 一般・中高生・教員・その他 ()
【概 要】 ソーシャルワークは人を支援するために体系化された専門的知識や技術などのことですが、身のまわりの人間関係や普段のコミュニケーションに活用することで生活環境がより良くなります。 本講義では、日常生活で有用なソーシャルワークについて理解を図ります。
【その他】 講演や講義は、演習やグループワークなども取り入れて、聴くだけではなく参加者同士の交流も図りながら進めていきます。

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 地域政策グループ 教授	
【所属学会】 日本教育カウンセリング学会 日本社会福祉学会 日本保育学会 など	
【主な研究テーマ】 <ul style="list-style-type: none"> ●福祉教育の教育内容と教授方法 ●生涯学習としての社会福祉 ●日常生活行動を活用したソーシャルワーク <p style="text-align: right;">など</p>	【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】 <ul style="list-style-type: none"> ●函館市教育委員会 社会教育委員 副委員長 ●函館市福祉のまちづくり推進委員会 委員 ●函館市地域福祉計画策定委員会 委員 <p style="text-align: right;">など</p>



地域政策	子どもの貧困 / 子ども虐待 / 子育て環境 など		
	中村直樹 (なかむら なおき)		
	【専門分野】 子ども家庭福祉 社会福祉学 など		
	【担当科目】 児童福祉論 など		
	お問合せ	☎ 0138-44-4217	✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp
地域協働可能なテーマ・取組例			
教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ●子どもや家庭の福祉に関する催し等 ●子どもや家庭の福祉に関する調査・研究 ●子どもや家庭の福祉に関する活動・取り組みの研究・支援 <p style="text-align: right;">など</p>	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ●貧困、虐待、社会的養護など多様な子どもたちのことをとことん考えたチャイルド・ファーストな地域づくりの支援 <p style="text-align: right;">など</p>	学生たちと
教員が提供可能な講演・講義例			
子どもをめぐる問題の理解と対応 ほか			
【対象】 <input type="checkbox"/> 一般・ <input type="checkbox"/> 中高生・ <input type="checkbox"/> 教員・その他()			
【概要】 <p>私の専門である子ども家庭福祉は、子どもをめぐる問題の解決が基本にあり、そのために大切になるのは問題を正しく理解することです。そこで、私の講演・講義では、子どもをめぐる問題として子どもの貧困、子ども虐待、少年犯罪などの問題について取り上げ、それらを正しく理解することについて学びます。また、それらの問題を解決するにはどのような方法が最善なのかということについても学んでいきます。</p>			
【その他】 <p>一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。</p>			
研究者情報			
【現職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 地域政策グループ 講師			
【所属学会】 日本社会福祉学会 日本地域福祉学会 日本フォスターケア研究会			
【主な研究テーマ】 <ul style="list-style-type: none"> ●地方都市において展開可能な貧困対策に関する基礎研究 ●学校における児童虐待対応に関する研究 ●子どものレジリエンスに関する研究 <p style="text-align: right;">など</p>	【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】 <ul style="list-style-type: none"> ●北海道子どもの虐待防止協会道南支部 監事 ●「子ども・家族が抱える貧困の実態：学校・教師に問われる子どもの貧困の理解と対応」 「児童虐待について：気になる家庭のサイン、発見から対応まで」など講演多数 <p style="text-align: right;">など</p>		

地域政策

地域が主体の経済開発 / 経済教育 など



畠 山 大 (はたけやま だい)

【専門分野】 応用経済学 (地域経済学・経済開発論) など

【担当科目】 地域経済学 経済開発論 など

お問合せ ☎ 0138-44-4217 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	<p>【教員が協働可能なテーマ・活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域経済や地方自治のあり方に関する助言や提言 ● 地域の振興開発や社会経済のあり方に関する市民的实践 (調査・研究、議論、提言等) に対する助言や支援 ● 社会科教育・経済教育の研究・実践に関する連携や協力 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域メディアとしての発信 (道南地域くらし応援プロジェクトによるミニコミ誌【MIMIZ】の発行等) ● 地域課題に関する調査・提言 ● 地域の市民・学生との意見交換や共同活動への参加 <p style="text-align: right;">など</p>	学生たちと

教員が提供可能な講演・講義例

グローバル化と地域社会 ほか

【対象】 一般・ 中高生・ 教員・その他 ()

【概要】

経済のグローバル化の中で、地域経済や地域社会はどのような状態に置かれ、地域の市民はどのように課題を設定すべきなのかを研究・教育しています。一般論としてお話しすることも、もしくは、北海道・函館地域を念頭に置いてお話しすることも出来ますし、沖縄地域をフィールドとしていますので同地域の政治や経済に関する歴史的経緯や今日的状況を含んでお話しすることも可能です。

【その他】

一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部 (函館校) 国際地域学科 地域協働専攻 地域政策グループ 准教授

【所属学会】 国際開発学会 北海道自治体学会 函館人文学会 日本地域経済学会 沖縄経済学会 経済教育学会

【主な研究テーマ】

- 沖縄地域の振興開発
 - 経済自立と地方制度
 - 地域の地域による地域のための経済教育
- など

【地域貢献活動の実績 (委員歴・社会活動等)】

- 北海道大規模小売店舗立地審議会 委員
 - 函館稜北病院倫理委員会 委員
 - 北海道自治体学会 運営委員
 - おきなわ SDGs パートナー (沖縄の未来像研究会)
 - 函館市観光アドバイザー 市指定委員 (2014年度)
 - 函館市事業仕分け 評価委員 (2012年度)
- など





平井 健文 (ひらい たけふみ)

【専門分野】 地域社会学 観光社会学 文化遺産研究 など

【担当科目】 社会学概論 地域社会学 現代社会変動論 など

お問合せ ☎ 0138-44-4217 ✉ hirai.takefumi@h.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ● 地域社会が主体となる文化遺産保全の仕組みづくりについての研究・支援 ● 地域文化を活かした観光まちづくりのあり方についての研究・支援 ● 産業遺産の価値構築についての研究 	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ● 地域文化の掘り起こしに関わる各種調査やワークショップの企画 ● 地域文化の発信を目的としたツールやマップの制作 	学生たちと
	など	など	

教員が提供可能な講演・講義例

「地域遺産」をどう守り活かすのか？ ほか

【対象】 一般・ 中高生・ 教員・その他 ()

【概要】

近年、文化遺産の社会的・経済的価値が目されるようになり、観光・教育資源としての活用も全国各地で進んでいます。一方、安易な「活用」は、その遺産の価値を損ねるだけでなく、かえって地域住民を遺産から遠ざけてしまうことにもつながりかねません。地域社会が主体となり、自分たちが大切に思う遺産をどう「守り」つつ「活かす」のか？最新の学問的動向と国内外の事例分析を踏まえて考えます。

【その他】

一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。上に挙げたもの以外にも、「地域協働可能なテーマ・取組例」や「主な研究テーマ」欄に記載のあるものであれば対応は可能です。詳しくは直接ご相談ください。

研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 地域政策グループ 講師

【所属学会】 日本社会学会 地域社会学会 観光学術学会 日本観光研究学会 など

【主な研究テーマ】


- 日本における産業遺産の観光資源化プロセスにおける社会的排除／包摂についての研究
- Heritage Studies の理論および東アジアへの援用可能性についての研究
- 樺太の石炭産業史および炭鉱労働者の引揚、サハリンの産業遺産の保全についての研究


など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- NPO 法人北海道遺産協議会
「北海道遺産将来構想検討会議」委員
- 京都錦市場商店街振興組合
「観光行動変容研究会」コーディネーター
- 文化庁『文化遺産を活かした地域活性化事業』
「気仙沼市における文化遺産を活用した復興まちづくり事業」メンバー

など

地域政策		社会政策 / 統計データ など	
		藤井麻由 (ふじい まゆ)	
		【専門分野】 公共経済学	
		【担当科目】 公共政策学 社会科学入門Ⅱ (公共政策) など	
		お問合せ	☎ 0138-44-4217
地域協働可能なテーマ・取組例			
教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 ●地域の統計データに関する調査・研究 など		【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 左記に同じ 学生たちと
	【教員が提供可能な講演・講義例】 統計データの読み方・使い方		
【対 象】 <input type="checkbox"/> 一般・ <input checked="" type="checkbox"/> 中高生・ <input type="checkbox"/> 教員・その他 ()			
【概 要】 「客観的な証拠」に基づく議論をするために、統計データを使うことが重要だと言われています。しかし、統計データを使えば必ず「客観性」が担保できる訳ではありません。本講義では、統計データの正しい読み方・使い方を学びます。			
【その他】 地域の実態を量的データによって「見える化」することの重要性について。			
研究者情報			
【現 職】 北海道教育大学教育学部 (函館校) 国際地域学科 地域協働専攻 地域政策グループ 講師			
【所属学会】 アメリカ医療経済学会 医療経済学会 日本経済学会			
【主な研究テーマ】 ●生活保護と就労に関する実証研究 ●労働移動とキャリア形成に関する実証研究 ●健康の社会経済的決定要因に関する実証研究 など		【地域貢献活動の実績 (委員歴・社会活動等)】 ●市立函館病院倫理委員会 委員 (~2017年9月) など	

地域環境科学		数学 / 代数幾何学 / はこだて国際科学祭 など	
		青木 昌雄 (あおき まさお)	
		【専門分野】 代数幾何学	
		【担当科目】 数学入門(代数) 代数学基礎 幾何学 I など	
		お問合せ	☎ 0138-44-4217
地域協働可能なテーマ・取組例			
教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 ● 中学校・高等学校における数学教育 ● 「はこだて国際科学祭」での企画 など	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 ● 数学を楽しむためのワークショップ など	学生たちと
	教員が提供可能な講演・講義例		
数とは何だったのか ほか			
【対象】 一般・ <u>中高生</u> ・ <u>教員</u> ・その他 ()			
【概要】 世の中にはたくさんの数があふれています。紙と鉛筆、あるいは電卓やコンピュータを使えば、どんな大きな数でも正確に計算できる、と私たちは信じています。しかし、見たこともないような大きな数の計算結果は、本当に正しくできているのでしょうか。それを確かめるには、数とは何か、計算とはどういうことかをゼロから(0という数から)考え直す必要があります。当たり前のように思っていることを、なぜ、どうしてと問いかけることが数学への第一歩です。			
【その他】 一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。			
研究者情報			
【現職】 北海道教育大学教育学部(函館校) 国際地域学科 地域協働専攻 地域環境科学グループ 講師			
【所属学会】 日本数学会			
【主な研究テーマ】 ● 代数幾何学におけるモジュライ理論 ● 代数スタック上の直線束の研究 など	【地域貢献活動の実績(委員歴・社会活動等)】 ● サイエンス・サポート函館運営委員 (はこだて国際科学祭の企画・運営) など		

地域環境科学	記憶力 / 創造性 / 習慣化するチカラ など	
	林 美都子 (はやし みつこ)	
	【専門分野】 認知心理学 実験心理学 記憶 学習 認知 など	
	【担当科目】 認知心理学 認知科学 学習心理学 など	
	お問合せ	☎ 0138-44-4217 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教 員 が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ●ズボラ記憶術 ●毎日コツコツ頑張るコツとは ●メダカと学ぶ「心理学」 ●理系でも心理学は学べますか <p style="text-align: right;">など</p>	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 <p style="text-align: center;">左記に同じ</p>	学 生 た ち と
-------------	--	--	-----------------------

教員が提供可能な講演・講義例

記憶を良くする十の方法 ほか

【対 象】 一般・中高生・教員・その他 ()

【概 要】
「記憶力に自信がありますか？」と訊かれて「いいえ、記憶は苦手です」と答えられる人は、実は記憶力の優れている人です。なぜなら、これまでの人生における記憶の失敗経験を「ちゃんと覚えている」からです。学校でテストを受けるとき、友達と思い出話をするとき、朝目が覚めて自分が誰でここはどこで今日は何をしようかと考えるとき、「記憶」は、いつでもわたしたちの人生に寄り添っています。それでも、まだまだあっと驚く意外な側面がどんどん明らかになってきているのが「記憶の世界」です。一緒に最新の記憶研究を学んで、楽しく記憶力を向上させてみませんか？

【その他】
一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 地域環境科学グループ 准教授

【所属学会】 日本心理学会 認知心理学会 認知科学会 教育心理学会 教師教育学会 北海道心理学会 など

【主な研究テーマ】 <ul style="list-style-type: none"> ●記憶高進現象(復習しないでテストを繰り返すだけで記憶力が向上するメカニズムの追究) ●無意識の記憶・潜在記憶(無意図的、無自覚であっても覚えていて、思い出せる情報の特徴、その研究方法の追究) ●創造力(優れた創造力や直観力は、着実に地道な論理的思考力や記憶力に支えられている) ●メダカや両生類の実験室外条件づけ ●早寝早起き、コツコツ勉強する等の習慣づけ <p style="text-align: right;">など</p>	【地域貢献活動の実績 (委員歴・社会活動等)】 <ul style="list-style-type: none"> ●北海道心理学会理事 ●記憶・認知研究会 <p style="text-align: right;">など</p>
--	--

地域環境科学	環境技術 / ナノ材料 / 応用物理学 など	
	松 浦 俊 彦 (まつうら としひこ)	
	【専門分野】 生物工学 表面科学 科学教育 など	
	【担当科目】 基礎環境物理学 生体物質環境論 など	
	お問合せ	☎ 0138-44-4217 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教 員 が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ● ナノ材料・ナノバイオサイエンスに関する研究・支援 ● 環境技術・環境材料に関する研究・支援 ● 先端科学教育に関する研究・支援 ● SSH 科学楽しみ隊の活動 ● 函館だいまん大学の活動 <p style="text-align: right;">など</p>	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ● 科学実験教室の開催・支援 <p style="text-align: right;">など</p>	学 生 た ち と
	教員が提供可能な講演・講義例		

教員が提供可能な講演・講義例

バイオミメティクス ～生物から学ぶ環境技術～

【対 象】 一般・ 中高生・ 教員・その他 ()

【概 要】
 水産資源が豊富な北海道。特に、イカは食卓に欠かせない食材ですが、墨などの非可食部の多くは廃棄物として処理されています。近年、こうしたイカの廃棄物を有効資源に転換させようとする新たな取り組みが北海道ではじまっています。本講義では、イカ墨を天然可食性黒色インクや次世代太陽電池、オーガニック化粧品材料にする最新の環境技術について紹介します。

【その他】
 上記のテーマは一例です。一般向けから中学・高校生向けの講演ができます。日程が許す限り対応いたしますので、ご相談ください。
 過去の実績：さくらサイエンスプラン（ベトナム・タイ・台湾・中国の高校生対象）、市立札幌開成中等教育学校（3・4年生対象）、附属函館中学校（全学年対象）、函館市立柏野小学校親子レク（5年生と保護者対象）、北海道大学総合博物館（市民対象）、函館横丁倶楽部（企業経営者対象）など。

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 地域環境科学グループ 教授

【所属学会】 応用物理学会 日本表面科学会 日本分子生物学会 日本科学教育学会

【主な研究テーマ】 <ul style="list-style-type: none"> ● イカ墨の太陽電池材料への応用 ● イカ墨のオーガニック化粧品への応用 ● イカ墨の基礎特性評価 ● リボソームの1分子観察 <p style="text-align: right;">など</p>	【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】 <ul style="list-style-type: none"> ● 北海道函館中部高等学校 学校評議員 ● 市立札幌開成中等教育学校スーパーサイエンスハイスクール(SSH) 運営指導委員 ● 函館だいまん大学 理事 <p style="text-align: right;">など</p>
---	---



地域環境科学	鳥と人との軋轢の解消 / 環境教育 など	
	三 上 修 (みかみ おさむ)	
	【専門分野】 生態 環境 など	
	【担当科目】 生物学実験 生態学 など	
	お問合せ	☎ 0138-44-4217 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教 員 が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 ●地域の自然環境保全に関すること ●鳥類と人との軋轢の解消に関わる研究 ●市民向けの身近な鳥に関する講演・情報提供 など	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 ●地域の鳥類調査 ●地域の自然環境と文化の関わりの調査 など	学 生 た ち と
	教員が提供可能な講演・講義例		

身近な鳥類の生態

【対 象】 <input type="checkbox"/> 一般・ <input type="checkbox"/> 中高生・ <input type="checkbox"/> 教員・その他 ()
【概 要】 日本には、おおよそ 600 種の鳥が生息しています。そのうち、我々が暮らしている町の中には、50 種くらいの鳥が見られます。ですが、ほとんどの方は、その存在に気づいていません。気づいてみると、日々の生活の楽しみも増えますし、そこから地域の価値を感じることもできます。
【その他】 テーマについても上記は一例ですので、ご相談ください。

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 地域環境科学グループ 教授	
【所属学会】 生物教育学会 生き物文化誌学会 日本景観生態学会 日本生態学会 日本鳥学会	
【主な研究テーマ】 ●都市の鳥類多様性に関わる研究 ●五稜郭におけるスズメによるサクラの食害に関する研究 ●外来種アメリカシロヒトリのこも巻きを用いた駆除 など	【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】 ●函館市環境審議会委員 ●鳥を研究している。著書に『スズメの謎—身近な野鳥が減っている!?!』（誠文堂新光社）、『スズメ—つかず・はなれず・二千年』（岩波書店）、『電柱鳥類学：スズメはどこに止まっている?』（岩波書店）などがある ●北海道新聞のコラム「朝の食卓」「魚眼図」で執筆 など

地域環境科学	生物多様性／シダ植物／OECM／グリーンインフラ など		
	村上 健太郎 （むらかみ けんたろう）		
	【専門分野】 景観生態学 生物学 緑化学 シダ植物学 など		
	【担当科目】 保全生物学 地域環境生物学 基礎生物学 生物学基礎実験 など		
	お問合せ	☎ 0138-44-4217	✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】	学生たちと
	<ul style="list-style-type: none"> ● 函館山や道南地域の海岸などに生育する（野生の）植物の生態学的な調査・研究 ● 創造的な緑地保全に関する研究と支援、助言 ● 地域の自然改変を伴う土地造成、緑化に関する研究と支援、助言 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 函館山や道南地域の海岸などに生育する植物の生態学的な調査・研究 ● 緑視率や緑被率などの計測・調査・研究を通じた都市緑化活動への提言 <p style="text-align: right;">など</p>	

教員が提供可能な講演・講義例

都市の生物多様性保全と生態系ネットワーク

【対象】 一般・中高生・教員・その他（ ）
【概要】 近年、都市にも生物多様性は必要と言われていますが、その理由、背景について景観生態学（Landscape Ecology）の観点から説明します。また多様性保全を目指した都市生態系ネットワークの現状と未来について解説します。
【その他】 これまで行った講演のテーマとして「シダ植物の不思議」、「海岸の自然再生と震災からの復興」、「屋上緑化とコケ植物を用いた緑化について」、「道南地域における都市の植物種多様性保全」などがあります。自然観察会や実習のテーマとしては「植物標本づくり講座」（小中高生向け）、「シダ植物の観察会」などがあります。

研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 地域環境科学グループ 准教授	
【所属学会】 本緑化学会 日本生態学会 日本造園学会 日本景観生態学会 環境情報科学センター 環境共生学会 American Fern Society など	
【主な研究テーマ】	【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】
<ul style="list-style-type: none"> ● 都市緑地の生物多様性保全に関する研究 ● シダ植物の気候変動指標化に関する研究 ● 海岸植物の保全に関する研究 ● 都市の生物多様性保全における壁や石垣などの硬質人工構造物の活用に関する研究 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 公益財団法人矢作川水源基金 評議員 ● きしわだ自然友の会 評議員 ● 一宮市環境計画市民会議 アドバイザー ● NEXCO 西日本滋賀県域自然環境保全検討会 委員 ● 函館市緑化審議会 委員 <p style="text-align: right;">など</p>



地域教育	算数科授業研究 / 国際教育協力 など	
	石 井 洋 (いしい ひろし)	
	【専門分野】 算数・数学教育 国際教育協力 など	
	【担当科目】 算数・数学科教育法 国際教育協力論 など	
	お問合せ	☎ 0138-44-4280 ✉ ishii.hiroshi@h.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教 員 が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】	学 生 た ち と
	<ul style="list-style-type: none"> ●算数・数学科における校内研究の研究協力（デジタル教科書やICTの効果的な利活用について） ●国際協力の講話や開発教育、ESD(持続可能な開発のための教育)のワークショップ <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●算数授業における1人1台端末の効果的な利活用についての支援 ●児童にとって身近で楽しい函館地域に関する算数問題を作成中。児童の学力向上を図るとともに、地域への愛着をもたせる問題の提供が可能 <p style="text-align: right;">など</p>	

教員が提供可能な講演・講義例

国際教育協力の現状

【対 象】 一般・中高生・教員・その他（ ）

【概 要】
 青年海外協力隊として2度の国際教育協力経験の内容（ブータン王国、ザンビア共和国）や、短期専門家として関わっていたサモア独立国の国際教育協力の現状をお話します。現在、日本の国際教育協力では、理数科の授業改善に関わる技術協力プロジェクトが世界各地で実施されています。多くの開発途上国では、教育へのアクセスが達成され、次なる目標として教育の質的改善に向けた動きが活発化しています。本講義では、開発途上国も注目している日本の算数・数学教育の特徴やその質の高さ、そして開発途上国の教育の現状や課題、それを克服するための国際教育協力の在り方などを解説します。

【その他】
 一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考ににご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域教育専攻 教授

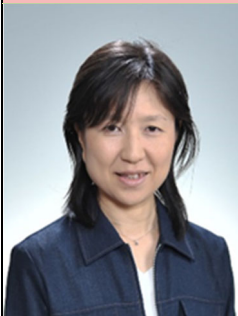
【所属学会】 全国数学教育学会 日本数学教育学会 国際開発学会 開発教育協会（DEAR）

<p>【主な研究テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●開発途上国における数学科授業研究の内発的発展に関する研究 ●算数・数学科学習者用デジタル教科書の効果的な導入・活用に係る実証的研究 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●JICA 課題別研修「初等算数教授法」コースリーダー ●JICA「サモア独立国初等理数科教育における問題解決型授業の展開」短期専門家 <p style="text-align: right;">など</p>
---	---



地域教育

英語科教育 / 異文化理解 / 国際理解教育



石森 広美 (いしもり ひろみ)

【専門分野】 国際理解教育 英語科教育 など

【担当科目】 初等外国語科教育法 国際理解教育 など

お問合せ ☎ 0138-44-4278 ✉ ishimori.hiromi@h.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	<p>【教員が協働可能なテーマ・活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国際理解教育、地球市民教育、異文化理解、SDGsに関する講演やワークショップ ●多言語活動の体験講座 ●シンガポールの教育に関する講演 ●異文化理解を促す Small Talk <p style="text-align: right;">など</p>	<p>【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小学校外国語と異文化理解教育 ●SDGs 達成に向けた探究学習活動 ●多文化共生社会の実現に向けた活動 ●子どもへの異文化理解を促す活動 ●多言語活動の体験講座 <p style="text-align: right;">など</p>	学生たちと

教員が提供可能な講演・講義例

世界の中の私たち / 異文化理解ってなあに? ほか

【対象】 一般・中高生・教員・その他 (小学生)

【概要】

「グローバルなものの見方」を知ることで、日常を違う視点から様々なものを見ることができるようになります。世界のつながりの中で私たちが生きていることを実感した時、ちょっと人生観が変わるかもしれません。シンガポールで3年の滞在歴がある他、海外経験が豊富で、JICA や UNESCO など様々な国際関係機関と連携して活動してきたことや教育現場(高校)で長年教鞭をとってきた経験を踏まえ、講演やワークショップに加え、SDGs や探究学習等のお手伝いもお引き受けします。さらに、多言語活動や異文化理解講座の組み合わせ等、ニーズに応じてアレンジが可能です。

【その他】

一般・教員向けから中学・高校などでの講義・演習、小学校の講座まで、校種・年齢問わず、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。参加型・対話型の手法も取り入れるなど、具体的で楽しくわかりやすい講演を心掛けています。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部(函館校) 国際地域学科 地域教育専攻 准教授

【所属学会】 日本国際理解教育学会 日本グローバル教育学会 小学校英語教育学会 日本学校教育学会 など

【主な研究テーマ】

- グローバル・シティズンシップ教育 地球市民教育
 - 異文化コミュニケーション
 - 英語教育における国際理解教育
 - 小中高の英語教育の接続と連携
 - 小学校英語授業における Small Talk
- など

【地域貢献活動の実績(委員歴・社会活動等)】

- 小学校における多言語活動・外国語活動・国際理解講師
 - JICA カンボジア教員養成大学への国際教育協力
 - JICA 教師海外研修ファシリテーター・講師
 - 教員のための SDGs/探究学習ワークショップ講師
 - 東北・北海道における出前授業・講演(多数)
- など



地域教育	教育倫理学 / 教育哲学 / 道徳教育 など	
	奥 田 秀 巳 (おくだ ひでみ)	
	【専門分野】 教育倫理学 教育哲学 など	
	【担当科目】 教育の基礎と理念 教育の哲学 道徳の理論と指導法 など	
	お問合せ	☎ 0138-44-4217 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教 員 が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】	学 生 た ち と
	<ul style="list-style-type: none"> ●学校における信頼関係に関する研究 ●教育現場における倫理的な問題に関する研究 <p style="text-align: right;">など</p>	左記に同じ	


教員が提供可能な講演・講義例

教育ってなに？ ほか

【対 象】 <input type="checkbox"/> 一般・ <input type="checkbox"/> 中高生・ <input type="checkbox"/> 教員・その他（ ）
【概 要】 私たちは誰しも「教育」という言葉を知っていますし、どこかで「教育」を受けたことがあるでしょう。しかし、その「教育」という営みが何であり、なぜ行われているのか、あらためてじっくり考えたことのある人は少ないかもしれません。本講演・講義では参加者の方と一緒に、誰もが知っているはずの「教育」という営みについて、「人間」という存在について考えることを通して、もう一度考えなおしてみます。
【その他】 一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域教育専攻 准教授		
【所属学会】 日本倫理学会 日本道徳教育学会 日本道徳教育方法学会 など		
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 【主な研究テーマ】 <ul style="list-style-type: none"> ●教師と児童・生徒の間の教育的関係に関する研究 ●安心して対話できる空間づくりに関する研究 ●道徳科における内容項目の倫理学的研究 ●哲学対話・対話型鑑賞における学びの構造に関する研究 <p style="text-align: right;">など</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】 <ul style="list-style-type: none"> ●教員免許更新講習 講師 ●学校と道徳教育（SAME）研究会 コメンテーター ●富山県高等教育機関リカレント教育推進事業（アート思考、哲学的思考、デザイン思考に関する講義）講師 <p style="text-align: right;">など</p> </td> </tr> </table>	【主な研究テーマ】 <ul style="list-style-type: none"> ●教師と児童・生徒の間の教育的関係に関する研究 ●安心して対話できる空間づくりに関する研究 ●道徳科における内容項目の倫理学的研究 ●哲学対話・対話型鑑賞における学びの構造に関する研究 <p style="text-align: right;">など</p>	【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】 <ul style="list-style-type: none"> ●教員免許更新講習 講師 ●学校と道徳教育（SAME）研究会 コメンテーター ●富山県高等教育機関リカレント教育推進事業（アート思考、哲学的思考、デザイン思考に関する講義）講師 <p style="text-align: right;">など</p>
【主な研究テーマ】 <ul style="list-style-type: none"> ●教師と児童・生徒の間の教育的関係に関する研究 ●安心して対話できる空間づくりに関する研究 ●道徳科における内容項目の倫理学的研究 ●哲学対話・対話型鑑賞における学びの構造に関する研究 <p style="text-align: right;">など</p>	【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】 <ul style="list-style-type: none"> ●教員免許更新講習 講師 ●学校と道徳教育（SAME）研究会 コメンテーター ●富山県高等教育機関リカレント教育推進事業（アート思考、哲学的思考、デザイン思考に関する講義）講師 <p style="text-align: right;">など</p>	

地域教育	実行機能 / 発達障害 / 知的障害 など		
	北村博幸 (きたむらひろゆき)		
	【専門分野】 特別支援教育 障害児教育 障害児心理 など		
	【担当科目】 知的障害教育課程論 発達障害児指導法入門 など		
	お問合せ	☎ 0138-44-4217	✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp
地域協働可能なテーマ・取組例			
教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ●発達障害のある幼児・児童・生徒の支援・研究 ●特別支援学級及び特別支援学校における研究の支援 <p style="text-align: right;">など</p>	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ●発達障害のある幼児・児童・生徒の支援・研究 <p style="text-align: right;">など</p>	学生たちと
教員が提供可能な講演・講義例			
学校の中で苦戦している子どもの支援 ほか			
【対象】 <input type="checkbox"/> 一般・ <input type="checkbox"/> 中高生・ <input type="checkbox"/> 教員・その他()			
【概要】 <p>学校の中には、学習面・行動面・対人関係面で苦戦をしている特別な配慮を必要とする子どもがたくさんいます。苦戦している子どもの支援のためには、①子どもが苦戦の原因を探り(アセスメント)、②子供が持つ強い部分を活用して(ストレングス・オリエンテッド)、③関係する大人がみんなで(チームアプローチ)支援することが必要です。地域の中で、みんなで、子どもを育てることの可能性について考えます。</p>			
【その他】 <p>一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。</p>			
研究者情報			
【現職】 北海道教育大学教育学部(函館校)国際地域学科 地域教育専攻 教授			
【所属学会】 本特殊教育学会 日本LD学会 日本発達障害学会 日本K-A-B-Cアセスメント学会 など			
【主な研究テーマ】 <ul style="list-style-type: none"> ●知的障害教育の授業改善の研究 ●発達障害のある幼児児童生徒の認知特性に応じた支援方法の研究 ●実行機能のアセスメントと支援の研究 <p style="text-align: right;">など</p>	【地域貢献活動の実績(委員歴・社会活動等)】 <ul style="list-style-type: none"> ●北海道教育局専門家チーム及び特別支援連携協議会 ●北海道及び青森県教育委員会初任者及び経験者研修 ●北海道教育委員会免許法認定公開講座 ●北海道教育委員会教員免許更新講習 <p style="text-align: right;">など</p>		

地域教育	ジェンダーと教育 / 教員社会 など	
	木村 育 恵 (きむら いくえ)	
	【専門分野】 教育社会学 「ジェンダーと教育」研究 など	
	【担当科目】 ジェンダー論 教育の社会学 学校文化論 など	
	お問合せ	☎ 0138-44-4217 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ● ジェンダー平等、男女共同参画、多様な性に関する理解促進等の支援・連携 ● ジェンダー・多様な性に関する教育、教員のキャリア形成におけるジェンダー平等課題についての支援・連携、研修会開催 など 	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ● ジェンダーと教育、多様な性、教員のキャリア形成におけるジェンダー平等課題等についての調査研究の支援 ● 学校教育とジェンダー、LGBT、SOGI に関する理解促進のための活動、研究発表の支援 など 	学生たちと
------------	--	---	--------------

教員が提供可能な講演・講義例

共生社会とジェンダー ほか

【対 象】 一般・ 中高生・ 教員・その他 ()

【概 要】
 学校生活やカップル関係など私たちの日常を、普段とは少し違う「ジェンダーに敏感な視点」からとらえ直してみると、何がみえてくるのでしょうか。「ジェンダーに敏感な視点」とは、性別にまつわる「当たり前」を見つめ直す重要な視点です。現代社会において、ひとづきあいや行動パターン、社会構造などを「ジェンダーに敏感な視点」からとらえ直すことは、社会に埋め込まれた差別や偏見に敏感に反応していく感覚や、他のひとがおかれた立場に対する想像力を育むことにつながります。多様性と向き合う知識や視点を持って豊かに生きていくための課題を、ぜひ一緒に考えてみましょう。

【その他】
 一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考ににご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部 (函館校) 国際地域学科 地域教育専攻 教授

【所属学会】 国際ジェンダー学会 日本教育社会学会 日本教師教育学会

【主な研究テーマ】 <ul style="list-style-type: none"> ● ジェンダー平等をめぐる教員研修のあり方に関する研究 ● 学校管理職・教員のキャリア形成における政策的・実践的課題に関するジェンダー研究 ● 多様な性やジェンダー平等教育実践に関する研究 など 	【地域貢献活動の実績 (委員歴・社会活動等)】 <ul style="list-style-type: none"> ● 函館市男女共同参画審議会 委員 ● 文部科学省委託「次世代のライフプランニング教育推進事業 (男女共同参画の推進に資する教員研修プログラムの開発に向けた調査研究)」検討委員会 委員 など
---	--



地域教育	教育行政学 / 教育制度 / 地域と学校	
	長尾 悠里 (ながお ゆうり)	
	【専門分野】 教育行政学 教育制度 など	
	【担当科目】 教育制度論 教職論 現代地域教養(地域と学校) など	
	お問合せ	☎ 0138-44-4291 ✉ nagao.yuuri@h.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ● 学校—地域の関係構築に関する研究・情報提供を含む支援 ● 学校統廃合や学校の存続に関する研究・情報提供を含む支援 <p style="text-align: right;">など</p>	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ● 「学校」や「教育」をテーマにした 交流・ディスカッションの実施と支援 <p style="text-align: right;">など</p>	学生たちと
-----	--	---	-------

教員が提供可能な講演・講義例

地域と学校が「よりよく関係をつくる」ために ほか

【対象】 一般・中高生・教員・その他（ ）

【概要】
 学校と地域の連携・協働の必要性が、盛んに提唱されています。しかし、子どもの存在を念頭に置く学校と、多様な世代が住み、様々な価値観や要望を抱える地域は、いったいどこまで手を取り合える／取り合うべきなのか。また、このズレにあえて向き合うことで、これまでの学校や地域にはない、新しい価値観・動向を生み出すことはできないのか。本講義では、受講者の皆様との議論を交えながら、地域に住む人、そして学校にかかわる人が、互いに「よりよく関係をつくる」ための方法を探ります。

【その他】
 一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域教育専攻 講師

【所属学会】 日本教育行政学会 日本教育政策学会 日本教育制度学会 日本教育学会 など

【主な研究テーマ】 <ul style="list-style-type: none"> ● 学校関係者間の関係構築過程 ● 小規模特認校制度の導入背景、過程ならびに帰結 ● 学校統廃合に伴う地域社会への影響 <p style="text-align: right;">など</p>	【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】 <ul style="list-style-type: none"> ● 北海道 PTA 連合会 第3ブロック連絡会 講演（講師） (2023年10月) <p style="text-align: right;">など</p>
--	---



地域教育	法と教育／子どもの社会参画／新聞を活用した授業など	
	野 寄 雄 太 (のざき ゆうた)	
	【専門分野】 法教育 社会科教育 NIE (Newspaper In Education) など	
	【担当科目】 地域プロジェクト 社会科教育ゼミ など	
	お問合せ	☎ 0138-44-4217 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】	学生たちと
	<ul style="list-style-type: none"> ●法を基盤とした授業づくり ●子どもの社会参画をめざした授業づくり ●新聞を活用した授業づくり <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●小・中学生への学習支援 ●子どもや大人など、特に弱い立場にある人々への支援 ●大学と地域が協働し、まちづくりに関わる活動 <p style="text-align: right;">など</p>	

教員が提供可能な講演・講義例

法を基盤とした授業づくり ほか

【対 象】 一般・小中学生・教員・その他（子どもの教育に関わる方々など）

【概 要】

私はこれまで小学校・中学校の教員として、法を基盤とし、子どもと社会がつながる授業の研究と実践を積み重ねてきました。しかし、子どもの日常は学校生活が中心で、学校で学んだことと社会とのつながりは未だ十分とはいえません。そこで、行政機関や新聞社、地域の方々等と連携した授業を実践することで、子どもが地域や社会の実態や課題を知り、自分なりの問いを持つことができると考えます。そのような授業を子どもといっしょに創ってみませんか。子どもたちが将来、地域や社会の担い手として成長していけるような授業を研究・実践していきたいと考えています。

【その他】

一般、専門職向けから、小学校・中学校などでの講演・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、ご相談ください。日程が許す限り対応いたします。特に社会科の授業を通して、子どもの社会参画を促したいと考えている先生方や、地域で学校教育と関わり、子どもの成長を支えたいと考えている方々との連携・協働をめざしています。

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域教育専攻 講師

【所属学会】 日本社会科教育学会 全国社会科教育学会 法と教育学会 日本シティズンシップ教育学会 日本NIE学会など

<p>【主な研究テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●法と教育を接続させた授業の開発と実践 ●新聞を活用した授業の開発と実践 ●司法福祉、更生保護と学校教育との連携 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小学校と中学校の教員として、行政機関、新聞社、地域の方々（自治会等）と連携した授業実践 ●中学生による地域の祭りの企画・運営への参画 ●子どもの食堂でのボランティア活動 ●児童自立支援施設におけるBBS活動 ●横浜（寿町）での炊き出しボランティア活動 <p style="text-align: right;">など</p>
---	--



地域教育	知的障害 / 学習形態(交流及び共同学習支援) など	
	細 谷 一 博 (ほそや かずひろ)	
	【専門分野】 特別支援教育	
	【担当科目】 特別支援教育基礎論 障害児地域支援臨床 など	
	お問合せ	☎ 0138-44-4217 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教 員 が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ● 小学校特別支援学級における交流及び共同学習に関する研究 ● 小学校特別支援学級に在籍する児童に対する学習支援 ● インクルーシブ保育の推進に向けた園内支援委員会の在り方に関する研究 <p style="text-align: right;">など</p>	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ● 知的障害児を対象とした休日のスポーツ活動支援 (<i>Special Olympics</i>) ● 小学校の通常学級児童を対象とした障害理解学習の実践 <p style="text-align: right;">など</p>	学 生 た ち と
-------------	---	--	-----------------------

教員が提供可能な講演・講義例

特別ではない支援教育

【対 象】 一般・中高生・教員・その他 ()

【概 要】
 特別支援教育は、障がいのある児童生徒を対象とした教育ではなく、子どもたち個々がもつ教育的ニーズに対応する教育として行われる必要があります。つまり特別支援教育は、障害のある児童生徒だけでなく、全ての児童生徒を対象としています。そこで本講義では「障がい」をどのように捉えて子どもたちに支援をする必要があるのか？子どもたちの抱える困難はどのようなものなのか？を知り、特別ではない支援教育について解説します。

【その他】
 中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。
 テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部 (函館校) 国際地域学科 地域教育専攻 教授

【所属学会】 日本保育学会 日本特殊教育学会 日本教育心理学会 日本発達障害学会 北海道特別支援教育学会

【主な研究テーマ】 <ul style="list-style-type: none"> ● 知的障害児 (者) を対象とした内発的動機づけに基づく交流及び共同学習の実施に関する実践的研究 個人研究 ● 幼稚園 (保育園) に在籍する気になる園児を対象とした支援方法に関する実践的研究 機関内共同研究 <p style="text-align: right;">など</p>	【地域貢献活動の実績 (委員歴・社会活動等)】 <ul style="list-style-type: none"> ● 公益財団法人スペシャルオリンピックス日本 ゴルフ競技部会 幹事 ● NPO 法人スペシャルオリンピックス日本・北海道 理事 ● 北海道特別支援教育学会 道南支部長 ● サマースクール in 函館 (長期休暇余暇支援プログラム) 令和4年度『障害者の生涯学習支援活動』に係る文部科学大臣表彰 <p style="text-align: right;">など</p>
---	--

地域教育	学校臨床／子育て支援／乳幼児教育／心理学 など	
	本 田 真 大 （ほんだ まさひろ）	
	【専門分野】 発達臨床心理学	
	【担当科目】 幼児理解と教育相談 学校臨床心理学 など	
	お問合せ	☎ 0138-44-4217 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ● 幼児教育・保育の質向上に関する支援（環境の構成、園内研修の方法提案、10の姿からの乳幼児理解、幼小接続） ● 予防的・開発的教育相談プログラム（集団対象）の実施または作成と検証 <p style="text-align: right;">など</p>	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ● 子育て支援イベントの協力・補助 ● 幼稚園・こども園・保育園での遊び・交流活動「あそびっこだいさくせん」 ● 小～高校生の人間関係づくり、いじめ未然防止活動、自殺予防教育、SOSの出し方に関する教育 <p style="text-align: right;">など</p>	学生たちと
------------	--	--	--------------


教員が提供可能な講演・講義例

保育の質と幼小接続

【対 象】 一般・ 中高生 ・ 教員 ・その他（ 保育士 ・ 保護者 ）
【概 要】 心理学の点から乳幼児期の教育・保育の重要性と特徴を解説し、小学校での学びにどのようにつながるのかを説明します。そして、大人（教師や保育士、保護者など）としてどのように乳幼児や進学間もない頃の小学校1年生と関わるとよいか（遊びの環境づくりや関わり方）を考えます。
【その他】 心理学やカウンセリング、乳幼児教育・保育の様々なテーマで児童生徒や教職員、保護者対象の講演を実施します。詳しくは「北海道教育大学 本田研究室」のホームページ→「実践活動」→「研修・講演歴」をご覧ください。

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域教育専攻 准教授		
【所属学会】 日本心理学会 日本保育学会 日本教育心理学会 日本カウンセリング学会 など		
<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 【主な研究テーマ】 <ul style="list-style-type: none"> ● 悩みの相談に関する研究（相談をためらう心理、上手な相談の仕方など） ● 予防的・開発的教育相談プログラムの作成と検証（ソーシャルスキル教育、ストレスマネジメント教育、いじめ未然防止活動、自殺予防教育、SOSの出し方に関する教育など） ● 幼児教育・保育の質に関する研究（幼児の挑戦的意欲、保育記録を通じた幼児理解、幼稚園教員養成教育など） <p style="text-align: right;">など</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】 <ul style="list-style-type: none"> ● 北海道幼児教育推進センターエリアスーパーバイザー ● 北海道教育委員会自殺予防教育プログラム検討会 ● 北海道公立学校スクールカウンセラー ● 函館市教育委員会「家庭教育セミナー」講師 ● 函館市教育委員会教育支援委員会（～2022年5月） ● 函館市子ども未来部子ども会議ファシリテーター（～2019年3月） ● 北海道知内町インクルーシブ教育システム構築モデル地域事業推進アドバイザー（～2016年3月） <p style="text-align: right;">など</p> </td> </tr> </table>	【主な研究テーマ】 <ul style="list-style-type: none"> ● 悩みの相談に関する研究（相談をためらう心理、上手な相談の仕方など） ● 予防的・開発的教育相談プログラムの作成と検証（ソーシャルスキル教育、ストレスマネジメント教育、いじめ未然防止活動、自殺予防教育、SOSの出し方に関する教育など） ● 幼児教育・保育の質に関する研究（幼児の挑戦的意欲、保育記録を通じた幼児理解、幼稚園教員養成教育など） <p style="text-align: right;">など</p>	【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】 <ul style="list-style-type: none"> ● 北海道幼児教育推進センターエリアスーパーバイザー ● 北海道教育委員会自殺予防教育プログラム検討会 ● 北海道公立学校スクールカウンセラー ● 函館市教育委員会「家庭教育セミナー」講師 ● 函館市教育委員会教育支援委員会（～2022年5月） ● 函館市子ども未来部子ども会議ファシリテーター（～2019年3月） ● 北海道知内町インクルーシブ教育システム構築モデル地域事業推進アドバイザー（～2016年3月） <p style="text-align: right;">など</p>
【主な研究テーマ】 <ul style="list-style-type: none"> ● 悩みの相談に関する研究（相談をためらう心理、上手な相談の仕方など） ● 予防的・開発的教育相談プログラムの作成と検証（ソーシャルスキル教育、ストレスマネジメント教育、いじめ未然防止活動、自殺予防教育、SOSの出し方に関する教育など） ● 幼児教育・保育の質に関する研究（幼児の挑戦的意欲、保育記録を通じた幼児理解、幼稚園教員養成教育など） <p style="text-align: right;">など</p>	【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】 <ul style="list-style-type: none"> ● 北海道幼児教育推進センターエリアスーパーバイザー ● 北海道教育委員会自殺予防教育プログラム検討会 ● 北海道公立学校スクールカウンセラー ● 函館市教育委員会「家庭教育セミナー」講師 ● 函館市教育委員会教育支援委員会（～2022年5月） ● 函館市子ども未来部子ども会議ファシリテーター（～2019年3月） ● 北海道知内町インクルーシブ教育システム構築モデル地域事業推進アドバイザー（～2016年3月） <p style="text-align: right;">など</p>	

地域教育		芸術一般 / 図画工作 / 美術教育 など	
		牧野香里 (まきの かおり)	
		【専門分野】 絵画 (日本画) 図画工作・美術科教育 など	
		【担当科目】 初等図画工作 など	
お問合せ		☎ 0138-44-4217	✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp
地域協働可能なテーマ・取組例			
教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ● 子供の美術・子供のための美術とは何か ● 鑑賞活動支援 ● 図工・美術・日本画に関する支援・連携、研修会開催 など	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 左記に同じ	学生たちと
	教員が提供可能な講演・講義例		
はじめよう日本画 ほか			
【対象】 <input type="checkbox"/> 一般・ <input type="checkbox"/> 中高生・ <input type="checkbox"/> 教員・その他 ()			
【概要】 「日本画」と聞くと、なんだか敷居が高そう、そもそもどういものなのかわからない、といった感想を持たれると思います。実は、人類が誕生して原初から存在する技法で、実際に触れてみると、そのプリミティブな感動に魅了される方も多くいます。歴史や材料論はもちろん、実際に制作して「日本画」の魅力に触れませんか？			
【その他】 一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。			
研究者情報			
【現職】		北海道教育大学教育学部 (函館校) 国際地域学科 地域教育専攻 准教授	
【所属学会】		公益財団法人日本美術院、北海道美術協会、日本教育大学協会、函館学校教育学会	
【主な研究テーマ】 <ul style="list-style-type: none"> ● 現代日本画表現を試みるにあたっての技法、素材研究 ● 図画工作・美術科の絵に表す、絵に対する苦手意識の研究 など		【地域貢献活動の実績 (委員歴・社会活動等)】 <ul style="list-style-type: none"> ● 絵画コンクールの審査、補助活動 ● 東京藝術大学一般公開講座講師 ● 東京藝術大学「大圓寺」天井画制作事業 制作協力者 ● 静岡県袋井市「東京藝術大学交流事業」講師 など	

地域教育

情報活用能力／ICTと教育／地域素材の活用 など



山口 好 和 (やまぐち よしかず)

【専門分野】 授業研究 教育メディア 地域教材の活用 など

【担当科目】 学習環境デザイン論演習 教材開発とICT など

お問合せ ☎ 0138-44-4217 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	<p>【教員が協働可能なテーマ・活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域の特色・魅力を活かした教材づくり ●「個別最適な学び」に向けた指導法の工夫 ●ICT「1人1台環境」の有意義な活用方法、「プログラミング的思考」の手だて ●探究型学習の環境構成、教材開発 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域の魅力を学ぶアプリ作成、映像コンテンツの編集・制作 ●「Society5.0」「情報モラル」教材の開発 ●地域の教育資源（博物館、美術館、図書館など）のメディア活用 <p style="text-align: right;">など</p>	学生たちと

教員が提供可能な講演・講義例

ネット社会のあるきかた ほか

【対 象】 一般・中高生・教員・その他（ ）

【概 要】

「インターネット」が家庭に届いて四半世紀が、またスマートフォンがポケットに入って早や10年が経ちました。「アフターデジタル」と呼ばれる現代社会で、健康に暮らし豊かに学び続けるためには、どんな知恵を身に付けておくと幸せなのでしょうか。過去の伝統は「生成型AI」などの新しい技術でどう残せるのでしょうか。世の中の仕組みの変化を正しく見据えながら、これからの社会を生き抜くすべを一緒に考えてみましょう。

【その他】

講演・講義のスタイルはニーズに合わせて対応できます。ワークショップ形式、ディスカッションなどを採り入れて、参加者間のコミュニケーションがとれる工夫をいたします。必要な教材、機材もこちらで準備できますのでご安心ください。また上記テーマはあくまでも一例ですので、ご遠慮なくお声掛けください。
(参考：函館校教育方法学研究室での活動 <https://emlab.jp/log/>)

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域教育専攻 准教授

【所属学会】 日本教育メディア学会 日本教育工学会 北海道教育学会 函館 学校教育学会 など

【主な研究テーマ】

- 学校教育、生涯学習分野における各種メディアの効果的な活用法（「情報活用能力」を育てる環境構成、学校図書館の利用、地域の特色を活かした教材づくりなど）
- 授業研究の方法論を工夫する（児童生徒の学び合い、教員の共同性を活かす研修環境、サークル活動支援など）
- 新しい教育課題への対応策（例「GIGA 端末、ICTの効果的な活用」「プログラミング教育」「言語活動」など身近な素材、題材を活かした教材・単元づくり）
- 地域で支える教育のありかた（「コミュニティスクール」「学校運営協議会」の運営手法など）

など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 北海道教育委員会「小学校プログラミング教育実践指定校事業」、渡島教育局「ICT活用コンソーシアム」委員
- 函館市教育委員会「小学校社会科副読本 わたしたちの函館」編集アドバイザー、函館市企画部 小学生向け映像教材「たからのまち はこだて」制作委員会
- 「道南情報教育研究会ネットワーク」（公開授業・協議会助言、ワークショップ支援など）
- 北海道函館西高校「探究学習」、北海道知内高校「地域創生学習」での教材・カリキュラムづくり共同研究
- はこだてみらい館との連携によるワークショップ実施



養護教諭特別別科	衛生学・公衆衛生学 / 疫学・予防医学 など		
	金子 信也 (かねこ しんや)		
	【専門分野】 衛生学・公衆衛生学 疫学・予防医学 教育学 など		
	【担当科目】 衛生学・公衆衛生学 精神保健学 養護総合演習 など		
	お問合せ	☎ 0138-44-4350	✉ kaneko.shinya@h.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 ●生活支援整備に関する調査研究・支援 など	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 要望があればご相談下さい。	学生たちと
-----	--	---	-------

教員が提供可能な講演・講義例

あなたの性格を振り返ってみませんか ほか

【対 象】 一般・ 中高生・ 教員・その他 ()

【概 要】

私たち一人ひとりが持っている性格を分析してみましょう。これまでの性格を振り返ることで、これまでの自分を確認出来ることに加え、新たな自分との出会いや、人間理解への興味が喚起されるかもしれません。
 ※人格と個人の成長および変化に関わる体系的な心理療法の理論である交流分析に基づいた性格分析を実施し、これまでの性格の再確認と新たな自分との出会い、そして人間理解への興味喚起を意図するものである。

【その他】

一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。
 テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部（函館校）養護教諭特別別科 教授

【所属学会】 日本衛生学会 日本産業衛生学会 日本公衆衛生学会 日本リスクマネジメント学会 など

【主な研究テーマ】

- 養護教諭特別別科生の精神健康調査
- 中小企業経営者の心身健康調査
- 東日本大震災被災者の精神健康とリスクマネジメント

など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 高槻市自殺対策連絡協議会 委員
- 未来のトラック研究会 研究員
- 日本リスクマネジメント学会 AMAROK Japan 主任研究員

など



ご相談から ご回答までの プロセス

step 1

お電話・FAX・メール・SC(ソーシャルクリニック)フォーラム等において地域課題に関するご相談・協働のご提案をいただきます。

地域協働推進センター窓口担当

北海道教育大学函館校 広報・連携推進グループ

電話 0138-44-4217 FAX 0138-44-4380

mail hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

step 2

本学地域協働推進センターが、既存の知的資源(教員・研究・授業等)や課外活動等との調整を行います。

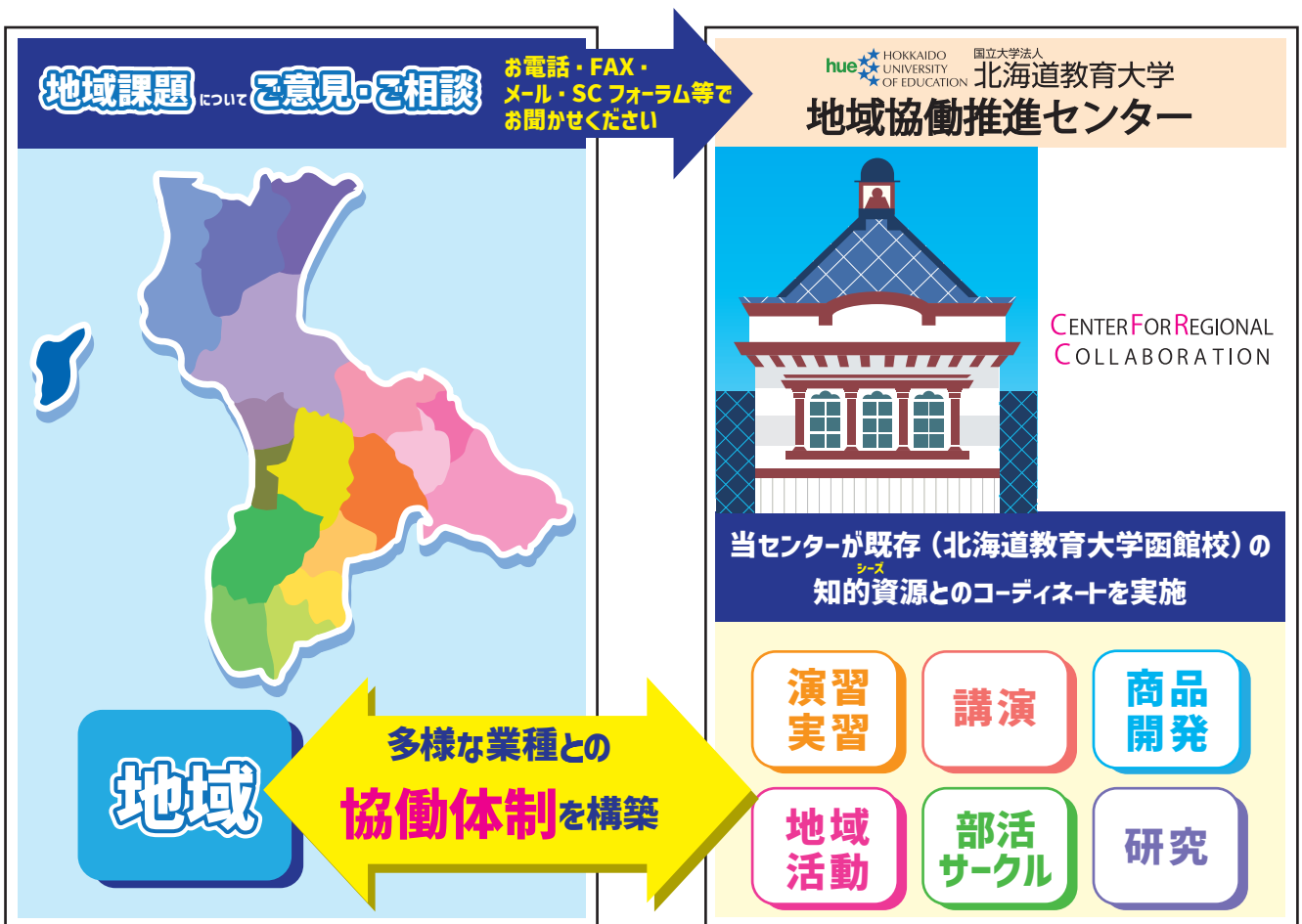
概ね2週間をめどに、ご回答・ご返信いたします。

step 3

担当者同士で、具体的な協働の目的・内容・方法・期間等について協議を重ねていただきます。

step 4

地域と大学による取組を開始します。



学生と教員が地域課題解決をお手伝いいたします